

第 40 回土木計画学研究発表会（秋大会）：2009 年 11 月 21 日～23 日（金沢大学）

セッション討議内容の記録

セッション名：産業振興	
日付：11 月 23 日（月）曜日、セッション時間：10：45～12：15	
司会者名（所属）：森本章倫（宇都宮大学）	
討 議 内 容	セッション全体： 農業振興の論文 2 編と工業立地の論文が発表された。討議では地域活性化に資する政策の展開や、今後のわが国の産業施策など、幅の広い議論がなされた。
	（発表番号）発表者名（所属）：中江翔（早稲田大学） ・ 農業に関して協議をするような場をどのように作っていくのか。 ・ 農地が撤退する必要があるのか？むしろ、郊外の農地の占める割合を増加させることで、都市の集約化が図られるのではないかと。 ・ 農地サイドと都市サイドが同じ評価尺度で議論できるような、共通尺度ができると良いと思われる。もっと総合的に分析を行なっていく必要があるのではないかと。
	（発表番号）発表者名（所属）：伊藤亮（運輸政策研究機構） ・ 業種別のようなもっとミクロな視点で研究を行なう必要があるのでは。 ・ 企業側のニーズと地域振興が一致しているか教えてください。 ・ 大店立地法施行以来、準工業用地での大規模小売店舗の立地が問題となっている。今後、工業団地の用途外の利用など適切な土地利用の議論が必要な気がする。
	（発表番号）発表者名（所属）：廣野雄飛（東京理科大学） ・ 輸出の話に着目して研究を行った理由はなぜですか。地域内で議論との関係は。 ・ 国民総生産をキーファクターとして捉えたのはなぜか。 ・ 農業生産額や農業生産量の関係を踏まえて、日本ブランドはどのように盛り込まれるべきか。 ・ 輸出と輸入額の関係についてはどうなっているのですか。また、農業生産額があまり変化しなかった理由はなんですか。